

U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

米国 フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業は拡大ペース加速 (05年8月フィラデルフィア連銀製造業景況指数)

発表日：05年8月18日(木)

～新規受注・受注残が増加しており8月の生産拡大を示唆～

(No. UI-092)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

フィラデルフィア連銀製造業景況指数

	現状 総合	新規受注	出荷	在庫	雇用	出荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件	6ヵ月先見通し 総合
04/08	29.2	23.2	32.8	1.8	20.0	▲ 5.8	3.9	33.6	54.3	▲ 20.7	50.3
04/09	15.9	26.8	25.4	2.7	22.9	2.9	2.8	34.6	56.7	▲ 22.1	43.6
04/10	27.2	23.5	26.5	2.4	15.0	0.3	▲ 2.2	33.2	57.2	▲ 24.0	27.8
04/11	19.7	20.8	21.4	▲ 4.2	15.4	▲ 2.9	▲ 1.8	30.3	55.4	▲ 25.1	47.9
04/12	25.4	20.9	25.6	▲ 4.5	14.0	▲ 1.1	3.0	21.1	53.8	▲ 32.7	39.0
05/01	13.2	9.8	15.9	▲ 2.7	17.0	▲ 3.2	▲ 5.2	24.7	66.1	▲ 41.4	25.5
05/02	23.9	11.7	23.8	▲ 7.4	12.3	7.1	▲ 2.8	24.6	43.5	▲ 18.9	26.5
05/03	11.4	13.2	14.7	▲ 5.3	10.1	3.5	▲ 2.1	15.3	29.7	▲ 14.4	29.8
05/04	25.3	20.3	29.4	3.4	16.8	5.1	▲ 3.8	28.0	50.5	▲ 22.5	27.5
05/05	7.3	15.0	14.9	2.0	5.4	0.5	▲ 0.1	15.7	30.9	▲ 15.2	22.3
05/06	▲ 2.2	2.5	6.6	▲ 0.4	7.1	▲ 13.2	▲ 19.0	8.1	23.5	▲ 15.4	30.6
05/07	9.6	5.0	12.4	▲ 10.9	3.4	▲ 1.9	▲ 9.2	12.0	26.5	▲ 14.5	15.3
05/08	17.5	19.8	17.8	▲ 7.3	6.3	0.9	7.2	3.0	25.9	▲ 22.9	33.4

(出所)フィラデルフィア連銀

+17.5と前月から 7.9ポイント上昇

05年8月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数(フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点)は+17.5と市場予想の+14.0を上回り、前月から7.9ポイント上昇した。8月にはNY連銀製造業景況指数が小幅低下にとどまり、フィラデルフィア連銀製造業景況指数がプラス幅を拡大するなど、企業部門の拡大ペース加速が明確化した。

この統計は月次での変動が大きい統計であるため3ヵ月移動平均をみる必要があるが、同ベースでの総合指数も、同地区製造業部門の鈍化に歯止めがかかり加速に転じていることが示された(2Pグラフ参照)。さらに、新規受注指数のプラス幅が拡大していること、現状判断に先行する半年後の景況感を示す指数が大幅に上昇していることから、8月入り後の同地区製造業部門の業況はかなり良好な状態にある。

目先生産の拡大を 示唆

個別にみると、新規受注・出荷のプラス幅拡大、受注残の7四半期ぶりとなるプラス転換、在庫指数のマイナス推移といった動きから、目先同地区の生産拡大が見込まれる。インフレ面では、仕入れ価格が小幅低下にとどまったように川上でのインフレ圧力が残存しているものの、販売価格が大幅にプラス幅を縮小しているように価格転嫁ができないため川下での物価安定に繋がっている。この結果、交易条件は前月から悪化しており、企業の収益性は低下している。このような中、労働時間は+1.0とプラス幅が縮小している一方、雇用指数が+6.3と小幅上昇したことから、同地区製造業が経済活動の持

ち直しに伴い雇用の拡大に迫られていることが示唆されている。

現状に先行する半年後の景況感に対する楽観的な見方が強まっている

先行きについての調査では、半年後の景況感を示す指数が+33.4と7月の+15.3から大幅に上昇しており、経営者の楽観的な見方が強まっている。

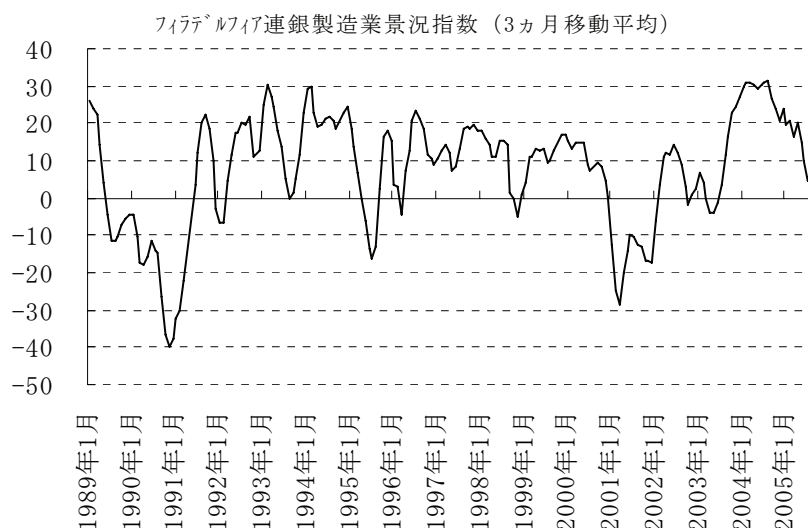
半年後の収益環境では、仕入れ価格の上昇を見込んでいるものの、販売価格のプラス幅がそれを上回る拡大を示しており、交易条件の小幅改善を予想している。このような見通しのもと、半年後の労働時間がプラスに転じ、さらに雇用も+12.6(7月+5.5)とプラス幅が拡大していることから、今後雇用の増加を示唆している。一方で、在庫のマイナスが続くなど引き続き在庫の削減を予想している。以上のように、競争が激化するなかで投入コストの上昇圧力が強い状況の継続が予想されており、今後も企業はコスト削減を積極的に進めるとみられる。

半年後の設備投資見通しは、+17.6と7月の+12.3から上昇していることから、同地区製造業での設備投資の拡大持続が示唆された。

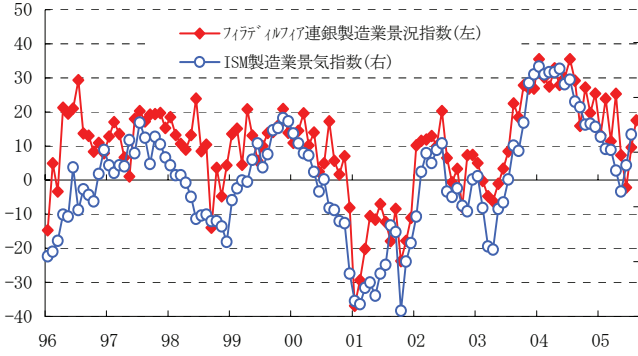
先行きについては、在庫の削減が続く一方、受注・出荷の拡大、交易条件の改善、雇用の拡大が見込まれており、先行きに対する楽観的な見方が強まっている。

ISM製造業景気指数は前月から小幅上昇の可能性

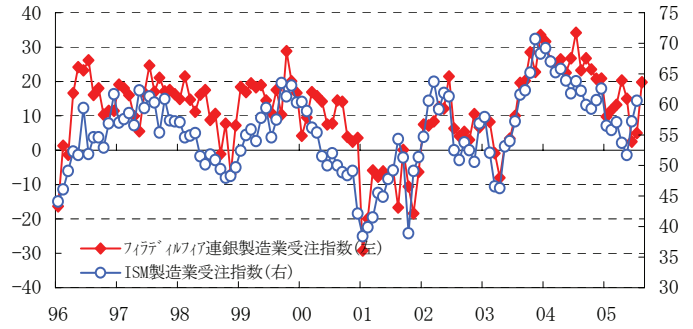
この指数は、ペンシルベニア州東部、デラウェア州、ニュージャージー州南部の製造業の景況感を表す指標であるが、全国の製造業の景況感を示すISM製造業景気指数と似た動きをすることが多い。8月にNY連銀製造業景況指数(エンパイア・ステイト景況指数)が小幅低下にとどまり、フィラデルフィア連銀製造業景況指数が大幅に上昇したことから、8月のISM製造業景気指数は7月の56.6から58程度へ上昇が見込まれる。



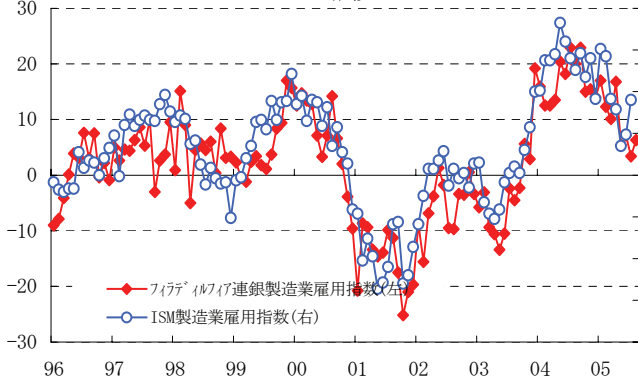
フィアテ[®] イルワイ[®]連銀製造業景況指数とISM製造業景況指数の推移



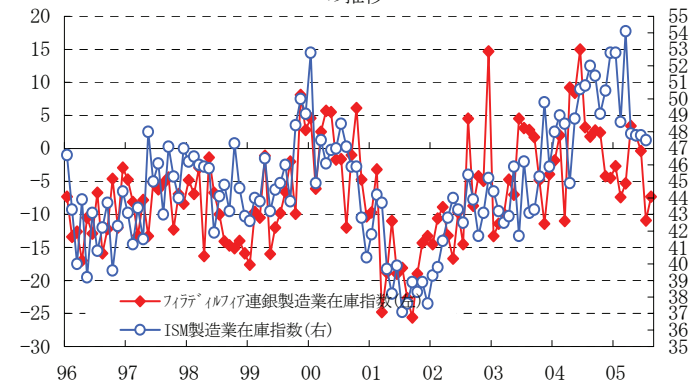
フィアテ[®] イルワイ[®]連銀製造業受注指数とISM製造業受注指数の推移



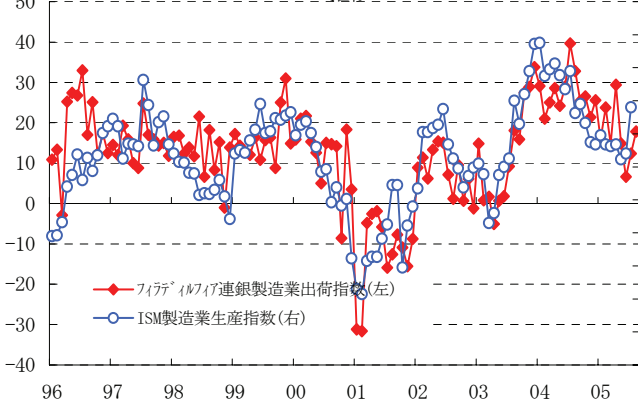
フィアテ[®] イルワイ[®]連銀製造業雇用指数とISM製造業雇用指数の推移



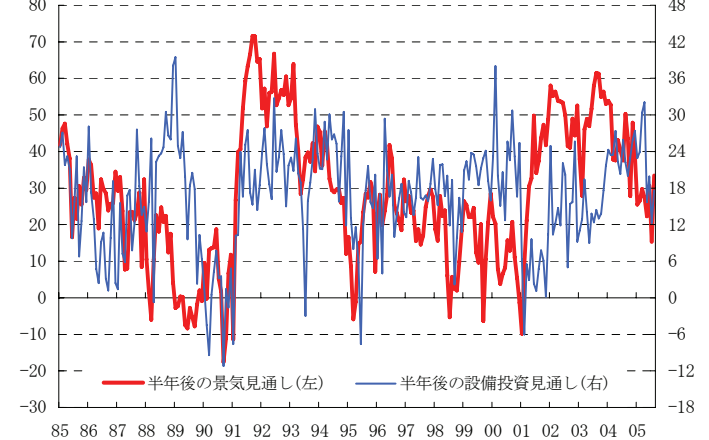
フィアテ[®] イルワイ[®]連銀製造業在庫指数とISM製造業在庫指数の推移



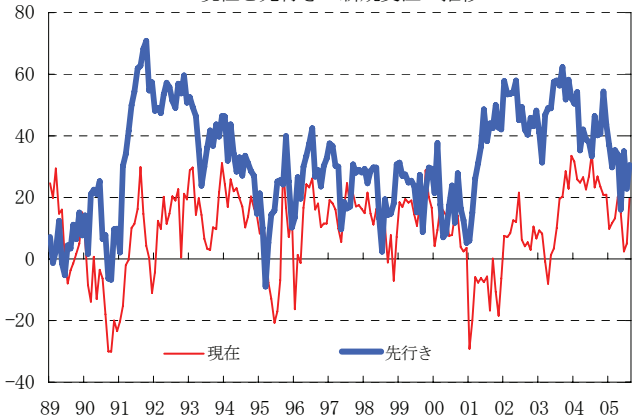
フィアテ[®] イルワイ[®]連銀製造業出荷指数とISM製造業生産指数の推移



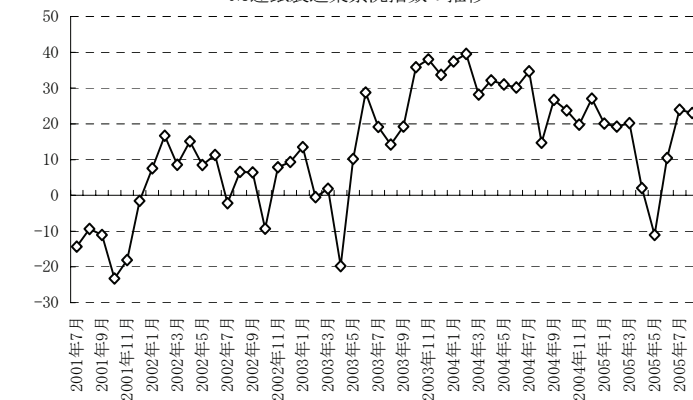
半年後の景気、設備投資見通しの推移



現在と先行きの新規受注の推移



NY連銀製造業景況指数の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。